

## COVER STORY

### 座談会に参加してくれた3人



**添田晋吾さん**  
獣医師。アニマルシェルター兼動物病院のヒューメインソサエティー・オブ・ニューヨーク(www.humanesocietyny.org)勤務。山口大学獣医学部卒業。昨年、小動物はり師の試験に合格。



**寺口麻穂さん**  
犬行動学専門家。米東海岸一の規模の市営アニマルシェルター、AC&C(4ページ掲載)に勤務。講習会「犬を学ぼう!」(www.doggieproject.com)も開講し、しつけなどの仕方も指導。



**松村けい子さん**  
飼育放棄された犬の一時預かり先を探したり、セラピー犬と各地に訪問したりするなど、ボランティア活動を行う。本業は、大手不動産会社コーポランのブローカー。

動物愛護活動にかかわっている3人に集まっても、ペットに関する話をシェアしてもらった。

**は?** ペットにかかわるきっかけは?  
**添田(以下添)**…子供のころから家に犬などいろいろな動物がいました。今は犬2匹と鳥を飼っています。  
**松村(以下松)**…あるニュースキヤスターが犬をアダプトした話に影響され、アニマルシェルター(以下シェルター)に行ってみました。軽い気持ちで飼いはじめたのですが、1週間で「離れられない」存在に。その子が病死し、今の犬は、パピーミル(子犬を乱繁殖させてペットショップに売る業者)から引き取りました。

**寺口(以下寺)**…東海岸に移って、シェルターからピットブルをアダプト。2年前に亡くなり、昨年再び同種犬を飼い始めました。

**は?** ペットを飼うと良いこと?  
**寺**…学びがあり人生が変わります。わたしの場合、「ただの犬好き」から「犬の専門家」という人生の使命に気付かせてくれました。  
**松**…辛抱強くなりました(笑)。犬はこっこの都合で動いてくれないので。

### 座談会

「動物を捨てる人が後を絶たないのはなぜ?」



生活に潤いや癒やしを与えてくれるかわいいペット。しかし人間のエゴで捨てられたり、虐待されたりしているペットは後を絶たない。①ペットショップでは買わない。②飼つからは覚悟を持って生涯を添い遂げる——そんな「常識」を、飼う前にもう一度考えよう。

**寺**…わたしもそう(笑)。寂しいから飼いたいという人もいますが。

**松**…生活が楽しくなるのは確か。癒やされるし、動物を通じて友人も増える。

**寺**…一つ難点はシングル女性。ペットとの時間が過ぎて過ぎて気持ちが満たされるので、恋愛運は逃げるかも?それを覚悟で(笑)。

**寺**…これまで見てきたペットの惨状を教えてください。

**寺**…シェルターではある期間引き取り手がないと、安楽死させられてしまいますので、惨状は毎日目の当りに。春夏の引越しシーズンは捨てられる動物も増え、今は収容率が150%。自分の感情を殺さないと、仕事ができないです。

**添**…ホリデーやイベントの前も、安楽死の依頼が多い。来客に病気のペットを見せたくないでしょう。

**全員**…信じられない!

**松**…わたしの犬はパピーミルで乱暴に扱われてきたので、今でも人を信用していません。以前、パピーミルの反対デモに参加し、建物に足を踏み入れましたが、犬のふんだらけで環境は劣悪でした。

**添**…養鶏場みたいですよ。もう子を産めなくなつた犬はシェルターに捨てられるか安楽死させられてしまいます。

**松**…人に歯向かう犬も売れないので、撃ち殺される。

**寺**…パピーミルにとって犬や猫は商品。そしてペットショップの動物はすべてパピーミルから安価で買われたもの。パピーミルをなくすには、動物をペットショップで買わないことです。飼いたいと思ったら、シェルターやレスキュー団体を利用してほしいです。

**寺**…各動物愛護団体が横同士で協力し合い、困った人を支援することです。例えば、犬を散歩に連れて行くことが困難な老人がいたら、としてもその人を支援できれば、シェルターに収容されるペットも減るはず。

**添**…そうですね。シェルターという箱があるから、簡単に捨てる人が後を絶たない。究極の理想はシェルターが必要なくなることで、自治体がシェルター的役割を担い、困った人々に支援や教育をしていけば、捨てる必要のない世の中になると思います。

**寺**…飼うとなったら長い付き合いになるので、飼い主としての「責任」と「覚悟」が必要。不安な人は何でも聞いてください!

**添**…「飼わない」選択があってもいい。飼いはじめると、飼いやめるのが難しいので。

**松**…「旅行に行けなくなり」とか「お金が掛かりすぎる」など心配し過ぎるのも良くない。わたしみたいに、とりあえず飼ってみたら?という気持ちもある。

**寺**…無理なく飼えようかどうか不安なら、どのレスキュー団体でも募集しているフオスターケア(一時預かり)をしてみたり、シェルターなどでボランティアをしたりして、身近に動物と接してみることから始めるといいでしょう。



飼うとなったら責任と覚悟が必要。

安楽死の依頼が増えるのはホリデー前。

わたしの犬は今でも人を信用していない…